

会報 第55号



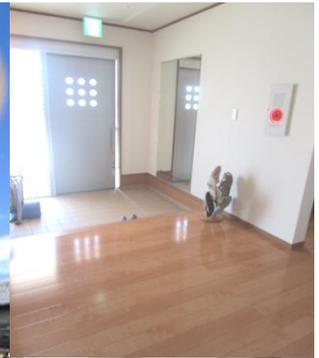
発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅  
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007  
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1  
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578  
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2  
 編集 筑紫会報 編集委員会



▼食 堂



▼玄 関



▲2階中廊下

▲新ハピネス全景

▲キッチン

「快適な生活 グループホームハピネス新築お披露目」平成30年7月24日工事完了

目次

- ・行事のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1P
- ・目指す法人の積極的な取組と果たす役割
- ・支援スタッフ委員会様より視察研修受ける・・・・・・2P
- ・虐待防止研修（支援の質向上を目指し）・・・・・・2P
- ・後援会定期総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2P
- ・GHハピネス 新築新居の生活・・・・・・・・・・・・・・3P
- ・後援会県外施設視察研修から・・・・・・・・・・・・・・3P
- ・行事のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4P
- ・行事と外出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5P
- ・感染症、食中毒対策（秋口要注意と  
 厨房の新たな取組）・・・・・・・・・・・・・・・・・6P
- ・平成二十九年度決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・7P
- ・新任職員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8P
- ・ありがとう善意の心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8P
- ・情報発信とお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8P
- ・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8P

§ 行事のお知らせ §

|           |            |         |
|-----------|------------|---------|
| 十月一日      | 健康診断       | (授産・厚生) |
| 十月十四～十五日  | 親睦旅行       | (厚生)    |
| 十月二～三日    | 親睦旅行       | (授産)    |
| 十一月二十三日   | 合同学園祭      |         |
| 十二月       | クリスマス会     | 各施設     |
| 十二月       | 忘年会        | 各施設     |
| 十二月二十九日   | 冬期年末・年始外泊  | 午前      |
| 十一月四日     | 午後外泊帰園     | (授産・厚生) |
| 五日        | 仕事始め       | (授産・厚生) |
| 一月        | 新年会        | 各施設     |
| 二月四日～三月三日 | 真壁のひなまつり出店 |         |
| 三月        | 三者面談       | (授産・厚生) |

### 支援スタッフ委員会法人視察

「筑紫会イズムの伝承」

## “目指す法人の積極的な取組と果たす役割”

当法人の職場環境やご利用者様方に対するサービス提供の取組内容や施設運営等について、日本知的障害者福祉協会発行の「さぽーと」四月号に特集が組まれました。この掲載を皮切りに、各方面から視察研修依頼が増加し、今回の支援スタッフ委員会からの施設見学が開催される運びとなりました。

### 真壁授産学園 副主任 飯島 正美

現在、全国の社会福祉事業所では深刻な人材難、職員定着・育成に大きな課題を抱えており、当法人は「職員の満足度業界No.1を目指す」をテーマに掲げ、職員が生き活きと働ける職場環境づくりとご利用者様へより良いサービスを提供できるように取組を実践しております。

### ▼熱心なご意見

約四十名の支援スタッフにご来訪いただき、当法人理事長、常務理事による『筑紫会と職場環境づくり』についての講話から、「将来的なビジョンの提示・日々の挨拶・傾聴・感謝・褒めること・敬うこと等、当たり前のことを改めて振り返ると殆どできておらず、大局観を考えた行動を取れていない自分たちに忸怩たる思いをしました。」という感想を賜りました。それだけではなく、「ハウスキーピング・セキュリティの徹底

さ、ご利用者様の自治会の存在等、そしてマカパンではご利用者様、来客者への合理的配慮等について深く学ばせていただき、とても参考になりました」とありがたいご意見の他、「御法人をモデルとした熱心な意見交換会が活発に行われました。」とのご報告も頂いております。

### ▼ご利用者様のために

このように法人の取組が他者に評価されるということは非常に喜ばしいことではありますが、マカパンにおいては美味しいパンや菓子をつくるだけでなく、それ以上に大切なものをつくり続け、これに甘んずることなく自らが携わっている仕事の意義、社会に貢献し続けるという当法人の役割を改めて自覚し、ご利用者様の幸せを最優先に考え精進し続けて参ります。

### 支援の質向上を目指し

真壁厚生学園 副施設長 吉原 晴美

平成二十三年に虐待防止法が制定されたのにも関わらず神奈川県で起きた津久井やまゆり園での障害者殺傷事件をはじめ、各地で障害者に対する虐待がメディアで取り上げられており、減少傾向には至っておりません。

そういう社会情勢の中で、当法人としては今まで以上によりよい生活を送って頂く為、障害者に対する虐待防止に努めなければなりません。私たち障害者支援施設は、厚生労働省より、障害者に対する虐待防止等のための措置を講ずる責務を求められています。

### ▼職員間で意識を高める

当法人も障害者への虐待を未然に防ぐため、倫理綱領や行動規範の周知徹底、職員の人権意識を高め、知識や技術の向上に努めなければなりません。その一環として、今回実施しました研修では、冒頭、虐待についての知識の理解、再確認をする為、虐待の分類や全国で過去に起きた虐待事案についての振り返り分析を行いました。

それによりグループワークを行い、虐待チェックリストを活用し、様々なシチュエーションを想定しながらどのような行為が虐待になるのかを職員同士で意見交換しました。

### ▼心を新たに

今回の研修で、障害者に対する人権擁護、虐待防止に対する意識を高めることができたと共に、ご利用者様に対し今以上によりよいサービスが提供できるように心を新たにしました次第です。

今後も当法人として定期的に人権擁護・虐待防止の研修を行い、障害をお持ちになつた方全てが幸せな人生を送ることができる様、全力を尽くしていきます。

### 後援会定期総会開催

去る五月六日(日)、真壁厚生学園地域交流ホームにおいて、「後援会定期総会」が開催されました。

後援会会長、理事長、吉原常務理事挨拶の後、平成二十九年度の事業報告、決算承認に続き、平成三十年度の事業計画、収支予算(案)が承認されました。

同時に年金管理委員会定期総会も行われ、平成二十九年度決算、平成三十年年度予算(案)が共に承認されました。後援会会長より、筑紫会創立三十周年式典のお祝い、会員協力の御礼。視察研修の参加のお願いがありました。

吉原理事長より、創立三十周年に当たって、これまでの事業運営の経緯と事業変化に対応した取り組みについての紹介、利用者及び後援会会員の高齢化を見据えて利用者家族による施設活動への参画を促す必要がある旨話がありました。

吉原常務理事より、将来の施設を「気持ちのこもった施設」として更に良くして行く為には、次の世代の後援会の基盤づくりが重要であること。個人情報保護に関する署名のお願いについて報告がありました。



# より安心安全な住まいへ グループホーム新ハピネス誕生！



○バリアフリー化  
玄関先には、スロープを設置し、玄関戸も軽い力で楽に動かせるよう引き戸にしました。室内も段差をなくし、さらに二階の中央廊下は幅広く、車椅子を利

新ハピネスは、平成二十九年十二月七日に工事が着工され、今年七月二十四日すべてが完了し、建物の引き渡しを行いました。  
亀熊地区内にあるタートルベアの敷地の一角に、将来を見据えた安心・安全で快適な住まいにと配慮してあります。

用されても十分余裕があります。  
○消防設備を完備  
また、火災報知設備やスプリンクラー、熱感知器や非常用誘導灯を設置し、消火器も常備しております。万が一火災が発生した時は、スプリンクラーが作動し、安全性が保たれます。

○快適な生活空間  
さらに、共有スペースを一段と広くし、浴室では、大きくなった浴槽にゆったりと身体を預けることよって、一日の疲れを吹き飛ばし、リラクセスできる空間ができました。キッチンでは、システムキッチンを導入し、調理台も広くな

ったことで以前よりもっと使いやすくなり、食堂では、会話が色々とはずみ、和気あいあいと過ごせるようになりました。また、たくさんのお食器や調理器具などが収納できるよう収納スペースも広くしました。

窓も全体的に大きくし、冬でも太陽光を多く取り入れ室内を明るく照らし、二重構造にもなっているため、結露や寒さ対策も十分にとられ毎日が快適に過ごせることと思えます。

これまで以上に地域の方々より深く信頼関係を築き上げると共に、地域の自治会さんと共に、清掃活動などをしていける様に支援を行なっていきたいと思えます。

## 福祉の動向を学びに 社会福祉法人 清郷会へ 六月二十六日

梅雨でも広がる青空の中、後援会ご父兄様二十三名、理事長、職員四名で、千葉県富里市にある社会福祉法人清郷会様へ訪問し、今後の福祉の動向など

の見聞を広げました。  
マイクロボスにて千葉県へと入り、成田ビューホテルでの昼食後、清郷会様の案内により最初の施設に到着し、理事長三橋様による施設案内が始まりました。

### ○子供から高齢者まで

幅広く事業を展開している清郷会様の施設の中で、今回、案内して頂いたのは、青空保育園、老人ホーム九十九

荘、障害者支援施設十倉厚生園の三箇所です。利用される方々が毎日楽しく過ごせるようにと考えられた工夫が随所に見られ、父兄の皆さんは真剣な表情でその話を聞いていました。

### ○今までとこれからと

十倉厚生園での施設案内の後、部屋へと移動し、三橋様の講演が始まりました。清郷会の成り立ちや事前には後援会より依頼した質問内容、今後の福祉の情勢など、三橋様の体験談を踏まえた話を真剣な面持ちで聞いていました

が、時折混じる冗談に自然と笑いが溢れる講演となりました。

### ○筑紫会後援会として

今回、参加したご父兄様より「三橋氏の話聞いてよかった。」「今後もこのような機会を設けてほしい。」など、満足した声が聞こえ、「これからも全力で筑紫会を支えていきます。」と決意を新たにされました。



社会福祉法人清郷会理事長三橋様、並びに職員の皆様方。お忙しい中、大変貴重なお話を頂き、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

行事のお知らせ

# 涼しい夜風と祭囃子

## ◆第二十三回合同夏祭り

【八月十一日】

様の踊りに注目していました。

真壁桜之舞

例年、様々な要因で気候は大きく変わってきており、特に、今年の夏は異常なほどの酷暑が連日続いていました。当日も厳しい暑さで、過ごしにくい気温でしたが、夕方に雨が降り、一時夏祭りが無事に行えるか不安がよぎりましたが、開始時間には止み、涼しく、過ごしやすい夜になりました。

夏祭りには、今年も桜川市長の大塚秀喜様が来て下さいました。また、昨年好評だった「しまじろう音頭」を今年も取り入れ、「真壁音頭」「岩瀬よいとこ」「石投げ音頭」「大東京音頭」「しまじろう音頭」の五曲を披露。ご利用者様は、溢れんばかりの笑顔で踊っている方が多く見受けられました。

その他にもやきそば、かき氷、フラックフルト等、各種模擬店で好きな物を食べ、射的や水ヨーヨー等娯楽を楽しみ、銘々に楽しい時間を過ごしていました。



お腹が満たされる皆様、メインイベントの真壁桜之舞様とグリーンローズ

様からは力強い踊りを。グリーンローズ様からは、癒される音楽と踊りを披露して頂きました。



また、グリーンローズ様からは今年もミニフラダンス講座を行って頂き、ご利用者様、職員一同、楽しく参加させて頂きました。

ゲストによるメインイベントが終わると、後援会の皆様による毎年楽しみに花火です。今年も盛大に打ち上げ花火や仕掛け花火、様々な種類の手持ち花火を用意して下さい、大盛り上がりとなりました。

昨年好評だったものを今年も取り入れ「楽しかった!」「来年も期待してですね」と皆様に喜んで頂ける夏祭りとなりました。お忙しい中御来場下さった大塚市長をはじめ、ご来賓の皆様、ご父兄の皆様、ボランティアの皆様、そして、ご利用者の皆様には深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

目指せ!ゴールへ!

つくしんピック

## ◆第二十二回合同運動会【五月四日】

今年も平昌オリンピックが開催された年ということと、ご利用者様、ご父兄の皆様、職員が一丸となって、ゴールを目指して競技を行えるようにと、思いを込めて今回のテーマを決めました。テーマ通り、全員がゴールを目指したつくしんピックになったと思います。本来は三日に開催予定でしたが、天気予報が雨であった為、四日に延期になりました。しかし、延期したおかげで当日は天候に恵まれ、穏やかで競技しやすい一日でした。

今年も新たに『フラフラダンス』という競技を取り入れたり、お子様向け競技に小学生以上の方対象の競技を取り入れたりしました。



小学生以上の方が対象の競技は、フラフープをくぐりパンを取ってゴールを目指すもので、よりたくさんの方に参加頂き、競技を楽しんで頂くことができました。

今大会、両者最後まで一步も引かず、激戦の末、十年ぶりに厚生学園が優勝し、また、怪我もなく無事に運動会を終えることができました。急な日程変更にも関わらずご参加、ご協力頂いたご父兄の皆様、本当にありがとうございました。

## 奉仕作業(授産・厚生・GH)

七月十四日、授産、厚生、各グループホームで奉仕作業が行われました。

いつも生活している場所への感謝を込めて、責任をもって掃除にあたるご利用者様の姿が印象的でした。連日の酷暑もあり、休憩で食べるアイスは格別な様で、「頑張ったからアイスがおいしい!」と、様々な場所で笑顔が見られていました。

また、今年もグループホームにおいても奉仕作業を実施しており、いつもの掃除では行き届かない箇所もきれいにすることができました。ご父兄様と共に掃除を行うことは、普段はなかなかできないことであり、入居者様から「一緒にできて良かった」との声がありがた、ご父兄様と交流が図れた、良い機会になったと思います。

酷暑の中、多数のご父兄様にご参加頂き、ありがとうございます。

# おでかけダイアリー

## ◆遊覧船に乗り霞ヶ浦を満喫◆

ゴールデンウィークを学園で過ごしているご利用者様を対象に五月十三日、土浦市川口にある遊覧船観光に出かけてきました。

遊覧船は土浦港から乗り、広々とした霞ヶ浦を三十分位で周遊。始めは一階の座席に座り、ゆったりと過ごしていました。二階のデッキに行くと、霞ヶ浦にはたくさんさんのヨットが浮かび、湖上から夏のさわやかな風景と心地よさを感じ、「気持ちいい！」と皆さん喜んでいました。

食事は国民宿舎「水郷」での豪華な重箱に入った食事です。ご飯のおかわりは自由で、二杯、三杯とおかわりする方もおり、「美味しかったなあ！もう食べられないよ！」と笑顔が見られ、満足そうでした。

入所後初めての外出だったご利用者様も良い気分転換となり、それぞれ外出を満喫することができました。



## ◆ドライブへGO!◆ 6/28

真壁厚生学園

創作活動班のご利用者様と職員合わせて十六名でマイクロバスを利用し、県西総合公園及び土浦方面へドライブに出掛けてきました。

当日も厳しい暑さでしたが、暑さ対策・対応をしっかりと鑑み午前中は公園ですべり台等の遊具で遊び、噴水を眺めながら涼をとり、無理せずゆったりとした外出としました。

昼食は就労支援サービスイマココさんでお弁当を注文。エビフライやから揚げ、おこわ等が入ったボリューム満点の豪華なお弁当に「凄いいね！美味しそう！」と目を輝かせ、美味しく頂きました。

その後は暑さの為予定を変更し霞ヶ浦までドライブです。遊覧船に乗り、周りの景色を見ながら、風の気持ち良さ思わずウトウトするご利用者様も…。発着所に着くまで、楽しく穏やかな時間を過ごすことが出来ました。帰りにアイスクリームを食べ、疲れが見えた表情も一瞬にして笑顔に変わっていき、「楽しかったね」「また行きたいな！」と感想を言いながら賑やかな帰路となりました。

## ◆楽しかったエンジンヨイ外出◆

真壁授産学園

六月下旬から七月中旬にかけて、エンジンヨイ活動の一環として茨城県自然博物館に外出をしています。博物館内では、恐竜の化石や動物の剥製を見たり、触ったり、動物の視野の広さを体験してきました。又、恐竜のジオラマを観ると、「迫力があってすごい！」や「恐竜が大きくて怖かった。」等、様々な声が聞かれています。動物の視野の広さを体験したご利用者様に感想を尋ねると、「トンボってあまり目がよく見えていないんだね。」と新たな発見に驚きの言葉を発していました。

昼食の要望を聞くと、「お肉！」と皆さん声を揃えて意気投合！ハンバーグやステーキ、デザートをお腹いっぱい膨れるほど食べ、「美味しかった！」と満足された様子が見えま

した。帰りの車中にて、「歩き疲れちゃったけど、また外出したい！」や「みんなと博物館に行け



## ◆汗水流したゆうあいスポーツ◆

茨城県ひたちなか市の笠松運動公園にて「第二十回ゆうあいスポーツ大会」が開催されました。今年度もフライングディスクの二種目、5m先にある輪にディスクを通すアキュラシー競技、距離を競うディスクダンス競技へそれぞれ男性ご利用者様九名、女性ご利用者様五名が参加しています。アキュラシー部門では四名の方、ディスクダンス部門では二名の方が見事一位に輝き、そのうち二名の方はダブル一位をゲットすることが出来ました！

今回は天候にも恵まれ、晴天・微風と優れた条件で、また競技会場も陸上のサブトラックで周りが木立に囲まれ風の影響が殆ど無く、万全なコンディションで大変良かったと思います。成績も大切ですが、何よりも参加者全員の笑顔が一段とキラキラと輝いていた一日でした。来年度の活躍にも期待が膨らみます。

てよかった！ありがとう！」と、外出へ出かけられた喜びの気持ちが笑顔から伝わってきました。

また皆さんがリフレッシュも兼ねて、楽しめる外出を企画したいと思います。

## 感染症・食中毒対策（看護師の取り組み）

例年以上に厳しい暑さとなった今年の夏。ようやく涼しくなってきたと喜んでいられる人も多いかもしれません。しかし、実は秋にも注意しなければならぬ病気が潜んでいます。特に、季節の変わり目である秋口は要注意です。

### ◆ウイルスや細菌による感染症◆

空気が乾燥する秋から冬にかけては、ウイルスや細菌による感染症に注意が必要です。特に多いのは、インフルエンザやRSウイルスであり、どちらも主な感染経路は、接触感染と飛沫感染です。また、風邪の症状と似ているため、大丈夫だろうと放っておくと、被害はどんどん拡大してしまいます。感染症が流行しやすい時期に、体調不良を感じたら、すぐに通院して診察を受けることをお勧めします。

基本的な予防方法としては、清潔なマスク（鼻の上まで覆うタイプだとなお良い）を着用する、手洗い・うがいの徹底、こまめな手指消毒等が挙げられます。

### ◆食中毒◆

夏の暑い時期に発生しやすいと思われるがちな食中毒ですが、最も発生するのは九月〜十月の時期です。夏バテを引きずってしまったたり、行楽シーズンにおける野外調理が増えたりすること

が原因となつていきます。食中毒を防ぐ上でよく言われているのが、細菌を「つけない（よく洗う）」「増やさない（低温での保存）」「やっつける（十分な加熱）」の三原則です。食中毒の原因となる菌には様々な種類があります。嘔吐や下痢が酷くなり、症状が悪化した場合には、すぐに医療機関を受診するようにしましょう。

### ◆看護師の取り組み◆

筑紫会では、感染症対策として、季節を問わず手洗いやうがいの強化を行っています。ご利用者様が手洗いやうがいをする際は、必ず職員が見守りや声掛けを行い、細菌の園内への侵入を未然に防ぐよう努めています。特に細菌が発生しやすい時期は、イソジンを使用するのがいいも徹底しています。

また、食中毒対策としては、看護師と調理師が連携し、食に関する安全面の強化を図っています。食材の中心温度を測って細菌の死滅を確認するなど、先述の三原則を常に意識しながら調理に当たっています。

金属類のアルコール消毒、食事前の手指消毒なども、滅菌には効果的であるため、毎日実践しています。今後も、「基本が大事」の精神で、常に予防線を開けるよう努力して参ります。

## 厨房の新たな取り組み・そして、情報発信

### ◆真壁授産学園の取り組み◆

授産学園では、ご利用者様の高齢化による身体機能の低下が今後考えられるため、早めの取り組みとして、嚥下・咀嚼困難な方の食事対応について対策を取り始めています。

現在、学園では常食、刻み食、ごく刻み食での対応をしており、今後必要となるソフト食（一品ごとにゲル化剤と一緒にミキサーにかけ温め、型に入れて冷やし固める工程で原型と見た目がかわらない調理法）の試作を行っています。また、嚥下・咀嚼の知識を身につけるため、厨房職員会議等で勉強会を開き、厨房職員全員でスキルアップできるように心掛けています。

### ◆真壁厚生学園の取り組み◆

厚生学園では、看護師を交えて病人食の勉強会を行いました。カリウム不足のご利用者様が多くなったことから、カリウム不足について、また、痛風や高脂血症や骨粗しょう症など、食事改善が図れる病気について学び、日々の食事に取り入れています。

それから、看護師と連携してご利用者様一人ひとりの栄養状況を把握し、食事の提供を行っています。今後も味と栄養のバランスの良い食事の提供に努めたいと思います。

### ◆最後に◆

授産学園、厚生学園共々、これからも、安心・安全で個々に合った食事内容に配慮し、美味しい食事を迅速に提供できるように厨房職員一丸となり、取り組んでいきたいと思えます。

### ✿情報発信✿

平成三十年度より新たな企画として、厨房便り真壁授産学園では『うまかつべ』を、真壁厚生学園では『まかべっ子』を五月に発行しました。学園で提供している食事に関して、保護者の皆様を知って頂く機会として、ご利用者様への食事内容（行事食、お楽しみ献立、選択メニュー）、調理に従事するにあたっての衛生面、調理法・盛り付けの工夫等、情報発信していくことで、少しでも学園の食事の取り組みや特色を知って頂ければと思えます。

さらに、真壁厚生学園では、花見の時のパーベキューの様子や厨房の調理の様子、厨房職員の紹介も第一号では掲載しました。

今後も様々な内容を発信し、皆様に楽しんでいただける誌面作りを目指して努力して参りますので、よろしくお願い致します。

# 平成29年度決算報告

社会福祉法人 筑紫会

## 資金収支計算書

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

(単位 : 円)

| 勘定科目        | 決算額         |
|-------------|-------------|
| 事業活動収入      | 516,143,253 |
| 事業活動支出      | 411,852,664 |
| 事業活動資金収支差額  | 104,290,589 |
| 施設整備等収入     | 517,366     |
| 施設整備等支出     | 51,561,811  |
| 施設整備等資金収支差額 | -51,044,445 |
| その他の活動収入    | 53,383,920  |
| その他の活動支出    | 83,871,600  |
| 財務活動資金収支差額  | -30,487,680 |
| 当期資金収支差額合計  | 22,758,464  |
| 前期末支払資金残高   | 211,969,547 |
| 当期末支払資金残高   | 234,728,011 |

## 事業活動収支計算書

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

(単位 : 円)

| 勘定科目        | 決算額         |
|-------------|-------------|
| サービス活動収益    | 509,440,492 |
| サービス活動費用    | 437,681,689 |
| サービス活動増減差額  | 71,758,803  |
| サービス活動外収益   | 6,875,081   |
| サービス活動外費用   | 2,745,090   |
| サービス活動外増減差額 | 4,129,991   |
| 経常増減差額      | 75,888,794  |
| 特別収益計       | 309,599     |
| 特別費用計       | 45,721      |
| 特別増減差額      | 263,878     |
| 当期活動増減差額    | 76,152,672  |
| 前期繰越活動増減差額  | 279,052,176 |
| 当期末繰越活動増減差額 | 355,204,848 |
| 基本金取崩額      | 0           |
| その他の積立金取崩額  | 53,238,160  |
| その他の積立金積立額  | 81,800,000  |
| 次期繰越活動収支差額  | 326,643,008 |

## 貸借対照表

平成30年3月31日 (単位 : 円)

| 資産の部   |               | 負債の部        |               |
|--------|---------------|-------------|---------------|
| 流動資産   | 234,454,897   | 流動負債        | 46,980,749    |
| 固定資産   | 1,937,282,495 | 固定負債        | 25,340,440    |
|        |               | 負債の部合計      | 72,321,189    |
|        |               | 純資産の部       |               |
|        |               | 基本金         | 326,992,931   |
|        |               | 国庫補助金等特別積立金 | 135,466,410   |
|        |               | その他の積立金     | 1,383,834,000 |
|        |               | 次期繰越活動増減差額  | 253,122,862   |
|        |               | (内当期活動収支差額) | 111,325,987   |
|        |               | 純資産の部合計     | 2,099,416,203 |
| 資産の部合計 | 2,171,737,392 | 負債及び純資産の部合計 | 2,171,737,392 |

# 新規職員紹介

今年の新任職員のみなさんをご紹介します。紹介文は、①出身地 ②趣味 ③性格 ④メッセージ を聞きました。

## ◆真壁授産学園◆

事務員 茂田 未季  
①結城市 ②寝ることとお出かけすること ③マイペースでポジティブです。たまに几帳面です。

④まだまだ分からない事だらけでたくさんご迷惑をかけてばかりですが、一つ一つ丁寧に業務等を覚えてこなしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

支援員 池田 健一

①筑西市 ②料理 ③意固地  
④福祉の仕事は初めてですが、よろしくお願ひします。

マカパン職員 佐藤 理恵子

①筑西市 ②子供と遊ぶような公園を見つめること ③のんびり

④5年前、職員としてお世話になりました。また一から色々勉強していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

## ◆真壁厚生学園◆

支援員 野田 祐多

①結城市 ②ジョギング ③自分では真面目に物事に取り組める性格だと思ひています。④一日でも早く皆さんから信頼していただける支援員になれるよう頑張ります。



## 入所者・退職者のお知らせ

### ▽入所者

4 / 5付 一宮 佑大(厚生)

### ▽通所利用者

- 3 / 14付 渡邊 壮馬(授産)
- 4 / 2付 中里 麻那(授産)
- 8 / 20付 竹井瑛梨香(授産)
- 5 / 22付 郡司 貴央(厚生)

### ▽退職者(支援員)

3 / 31付 倉持 祐哉(授産)  
7 / 31付 奥津 梨衣(厚生)

3 / 31付 内海 唯(厚生)

### ▽施設入所利用変更

6 / 1付 沼尻 大亮  
(授産→ビックウイング)

## ありがとう善意の心

今年も昨年を引き続き、「真園会」様より両施設にスイカとキュウリの寄贈をして頂きました。

食事の時間に盛られた料理を頂いた利用者さんは、「甘いね!」と、笑顔で頬張っていました。

この場をお借りしまして、「真園会」様の毎年のお心遣いに感謝申し上げます。ありがとうございます。



## 花いっぱい運動 『花の応援団』

二〇一九年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」に向け、全国からの来県者を、県民の育てたくさんのお花でお迎えし、歓迎の気持ちを伝える『花いっぱい運動』に参加しています。ご利用者様もメッセージを書いた立て札を花壇に設置し、応援してまいります♪

## 【NHK歳末たすけあい助成事業】

(平成二十九年度事業報告)  
○真壁授産学園

毎年十二月に開催される、「クリスマス会」において、厨房職員が腕によりをかけ、豪華な食事を提供しました。また、授産学園専属のサンタクロースからクリスマスプレゼントを受け取ったご利用者様は、各々笑顔であふれ、楽しいクリスマス会になりました。

### ○真壁厚生学園

新作業棟二階と交流ホーム一階にスクリンを設置しました。大迫力の映像にご利用者様も嬉しそうな様子でした。

ここに、共同募金会(NHK歳末たすけあい)による、県内外の関係者並びに多くの皆様方のご支援にこの場をお借りし、謹んで感謝申し上げます。

## 【編集後記】

今年も、例年にも増して気温が高く、夏を過ごすのが大変だったと思ひます。暑さで体力も消耗しており、熱中症予防にと冷房の中でお水をたくさん飲んでいると、疲れがとれにくくなってきましたので、できるだけ疲れを溜めないように、いつも以上に休息をとりながら、残暑を乗り切ってください。厳しい暑さが続いておりますが、皆様十分にお体にはお気をつけてお過ごし下さい。